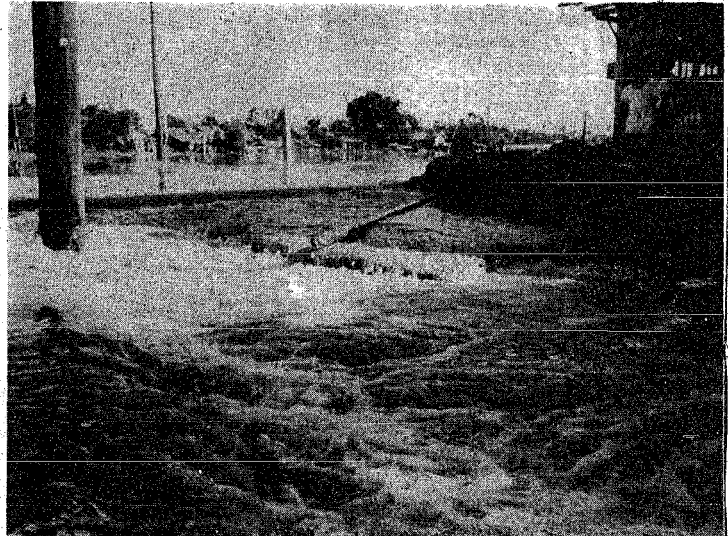


濁流も防いだ濁川地区

「押し水、対策—不眠不休の四日間

加治川決壊のニュースが伝えられた。濁川地区の人々は八月二十九日未明から雨をこらして土のう積みを開始した。(新井郷川左岸の四百目所付近 二十九日写す)

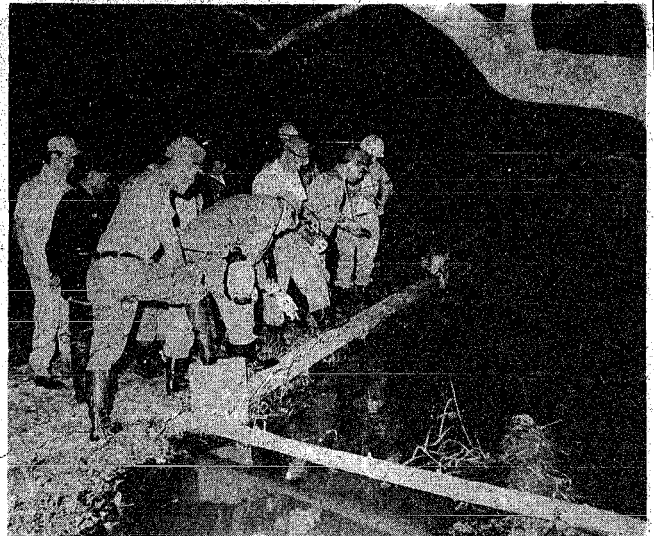


西名柄から押し寄せる濁流は大田川の堤防も破り、国道7号線を越えて豊栄町に流れ込んだ。濁川地区はこの下流にある。(豊栄町釜柳付近 29日写す)



濁川地区内の県道暗きよから多量の漏水。この一角がくずれてはと必死に土のうを積み成程消防団員と地元民。(30日午前1時ころ写す)

加治川からの押し水で刻々増水する小八郎川(松島)を視察し、対策を練る遼辺市農と地元消防団一行。(豊栄町との境界で三十日夜写す)



新井郷川などの増水で簡易水道に汚染の恐れがあった。対策本部はさそく給水車を回し、飲料水を配る。(各目所 三十日写す)



避難命令で濁川地区の人たちは大形、太夫浜両小学校に集まった。不安に包まれる避難者に対策を説明し、激励する遼辺市農。(大形小で二十九日写す)